



お父さん、お母さんのための One Point 講座

No.3



『祝福子女の使命と責任』

真の御父母様のみ言

『皆さんは統一教会（現・家庭連合）の二世ですから、皆さん自身が統一原理をよく読んで理解することが最も大切です。それが世の中と戦うことができる唯一の武器です。12～13歳頃から原理をよく読むと、何度も何度も読むと、神様の心情を悟ることができるのです。しかし誘惑されてくるその繰り返しをしながら成長して大きくなっていけば、サタンから主管される子どもになってしまう』

* 祝福子女の使命と責任

- ① 復帰摂理歴史の完成においてその途上であるので、一世が残している蕩滅も清算することのできる信仰を持たなければならない。したがって、苦勞の道も一世とともに行かなければならない。
- ② 神の血統を残す使命がある。
- ③ 神様と真の御父母様のご心情を理解して、神の国の建国の担い手でなければならない。
- ④ み言の学習とみ言の生活実践。
- ⑤ 言語統一。特に韓国語のマスター。
- ⑥ 絶えず襲ってくるサタンの攻撃に打ち勝つ信仰生活をすることは、もちろんなことである。
- ⑦ 祝福家庭としての強い自覚。代々信仰の伝統を受け継がせていくために、二世や三世の立場が重要であることを理解する。

（裏面に続く）



祝福子女は、6000年を経てやっと誕生した神の血統圏です。何にも代えがたい価値を持っています。今は、不器用であったり、落ち着きがなかったりであったとしても、親の要素以上に、神様からの要素、父母様の運勢を受け継いでいます。いかにしてその才能を引き出してあげるか、その才能を伸ばすことのできる環境や師に出会わせてあげるかが、父母の責任ではないでしょうか。

また二世には、「この道」しかありません。自分で相手を選んで既成祝福を受けるという道はないのです。今の社会環境の中で、神の血統を守り育て、道をそれない子女として育てるには、どれほど父母の決意と自覚が必要でしょうか。

子どもたちがその使命と責任を自覚する時を迎えるまでの土台を作るのが、幼年期、少年期です。父母の祈りと、日々の努力が重要です。特にお母さんの祈りが大切！ 子供を育てながら、親も成長させられます。ともに育て、神様の願う理想家庭を作りましょう。

【小学生期や中学生期に勉強の動機づけをどうするか】

教会活動の場合は知っている二世友だちがいたり、面倒見のいいお兄さんお姉さんがリードしてくれると、生き生きと通い出すことがあります。しかし学校の勉強となるとなかなかやる気が起きないという傾向があります。そこは親が「勉強しなさい」と叱りつけるのではなく、「勉強も神様のみ旨である」と教えてあげることです。神様を愛しなさいと言っても、具体的に何をすればいいかわからない子もいます。

世界の戦争を解決したり、困った人を助けたり、社会に役立っていくために「愛の道具」として知識が必要になるのです。神様の願いに貢献するために勉強が必要だと子ども自身が気づかないと、勉強意欲は高まりません。本人の適性もありますので、勉強の必要性を悟るまで親が辛抱強く待ってあげて下さい。

(世界平和統一家庭連合 岡山家庭教会 子女教育担当資料)

